

かんたん設定ガイド

ワイヤレスアクセスポイント



設定方法を動画で確認

QRコードをスキャンするか、以下URLから設定する機種の種類を選択してください。
<https://www.tp-link.com/support/setup-video/>



注意:画像は実際の製品と異なる場合があります。

1 ハードウェアの概要

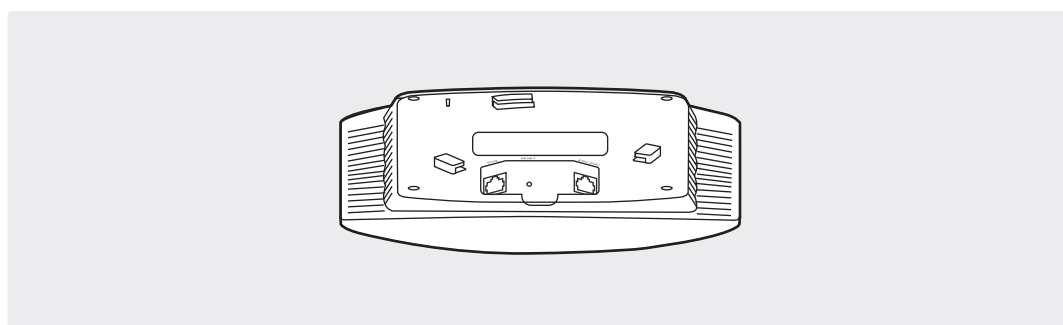
パネル正面



LED インジケータ

- **緑点灯**: デバイスが正常に動作中または初期化中です。
- **黄色点灯**: デバイスは隔離状態です。
- **黄色点滅**: デバイスに問題が発生しています。
- **黄色・緑点滅**: デバイスのアップデート中です。デバイスとの接続を切ったり電源をオフにしたりしないでください。
- **黄色・緑点滅(高速)**: デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセット中です。

パネル裏面



RESET

デバイスの電源が入っている状態で、LEDが黄色と緑色にすばやく点滅するまでボタンを5秒ほど長押ししてください。デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

ETH1 (PoE) (For EAP225 / EAP245 / EAP265 HD)

このポートは、LANケーブルを介したデータ伝送とPower over Ethernet (PoE)用に、付属のPoEアダプターのPoEポートまたはPoEスイッチ等のPSE(給電機器)と接続するために使用されます。

ETH2 (For EAP245 / EAP265 HD)

ブリッジングに使用するギガビットイーサネットポートです。

ETHERNET (For EAP110 / EAP115)

このポートは、データ伝送用にルーターまたはスイッチに接続するか、LANケーブルを介したデータ伝送とPower over Ethernet (PoE)用にPoEスイッチ等のPSE(給電機器)に接続するために使用されます。

POWER (For EAP115)

付属の電源アダプターの片方をこのポートに差し込み、もう一方を標準の電気コンセントに差し込んで、EAPに電力を供給します。

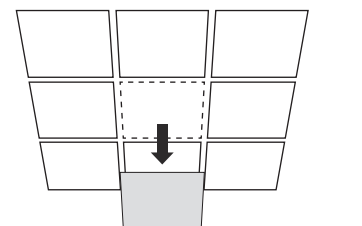
2 ハードウェアの取り付け

EAPは、天井または壁取り付けが可能です。必要に応じて取り付け方法を選択し、以下手順に沿って適切に設置してください。

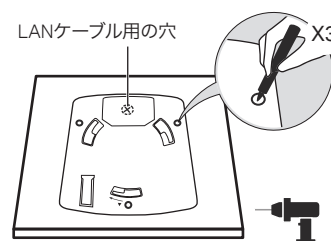


方法1:天井取り付け

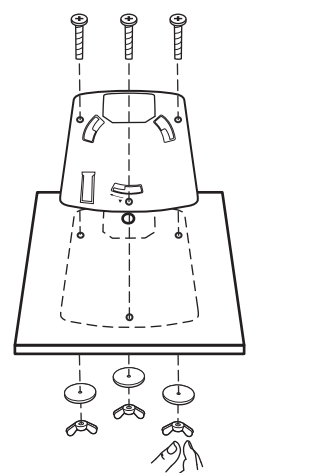
注意:天井タイルがEAPよりも大きいことを確認してください。



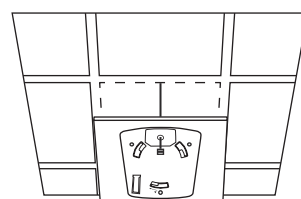
1
天井タイルを取り外します。



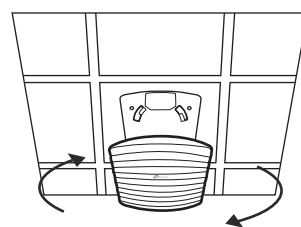
2
取り付け用ブラケットを取り外した天井タイルの中央に置き、タイルにネジ穴用3か所とLANケーブル穴用1か所の目印を付けます。目印に合わせてネジ用に直径4mmの穴×3と、LANケーブル用に直径25mmの穴×1を開けます。



3
左図のようにM3x30 なべ小ねじ・ワッシャー・ウイングナットを使用して、取り付けブラケットを天井タイルに固定します。



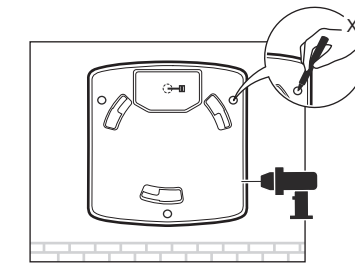
4
LANケーブルを穴に通し、天井タイルを元の位置に戻します。



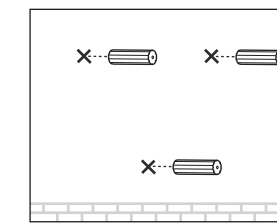
5
LANケーブルをLANポートに接続します。続いてEAPの▲マークと取り付けブラケットの▲マークの位置を合わせ、左図のようにEAPを回して固定させます。

方法2:壁取り付け

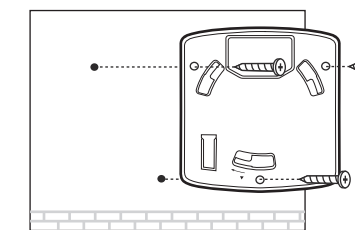
注意:セキュリティ上の観点から、ルーバーを下にしてEAPを設置するのはおすすめしません。



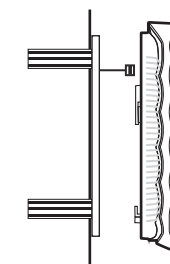
1
LANケーブルが壁を通り抜ける場合は、ケーブルを固定穴に通して取り付けブラケットを設置することができます。壁にネジ穴3か所の目印をつけ、それぞれの位置に直径6mmの穴を開けます。



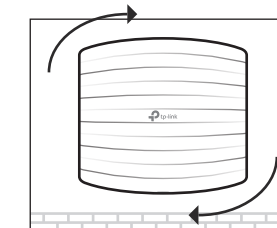
2
壁用のプラスチックアンカーを3か所の穴に差し込みます。



3
タッピングねじをアンカーに打ち込み、取り付けブラケットを壁に固定します。取り付けブラケットの肩が外側になるようにしてください。



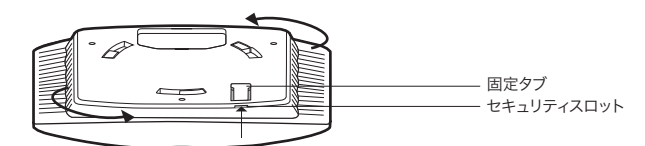
4
LANケーブルをEAPのLANポートに接続します。



5
EAPの▲マークと取り付けブラケットの▲マークの位置を合わせ、左図のようにEAPを回して固定させます。

ヒント:

EAPを取り外す際は、セキュリティスロットにペーパークリップ等を差し込んでロックを解除し、下図のように取り付けブラケットから外れるまでEAPを回転させてください。



3 電源

EAPは電源アダプターまたはPoEスイッチ等のPSEデバイスを介して給電可能です。

方法1:PoEスイッチ (EAP115 / EAP225 / EAP245 / EAP265 HD)



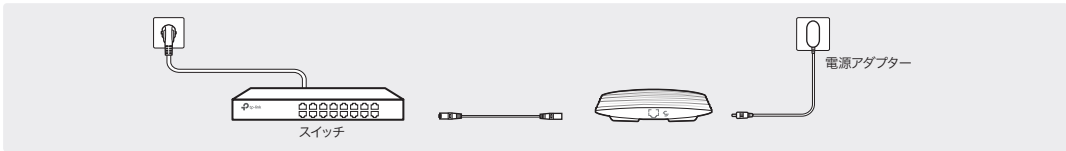
EAPデバイスのLANポートとPoEスイッチをLANケーブルで繋いでください。(EAP245 / EAP265 HDの場合はETH1)

方法2:PoEアダプター (EAP110 / EAP225 / EAP245 / EAP265 HD)



- EAPデバイスのLANポート (EAP245 / EAP265 HDの場合はETH1)と、付属PoEアダプターのPoEポートをLANケーブルで繋ぎます。
- LANとPoEアダプターのLANポートをLANケーブルで繋ぎます。
- 電源コードをアダプターの電源ソケットに繋ぎ、コードのもう一方を壁のコンセントに差し込みます。

方法3:電源アダプター (EAP115)



付属の電源アダプターの片方をEAPのPOWERポートに差し込み、もう一方を壁のコンセントに差し込みます。

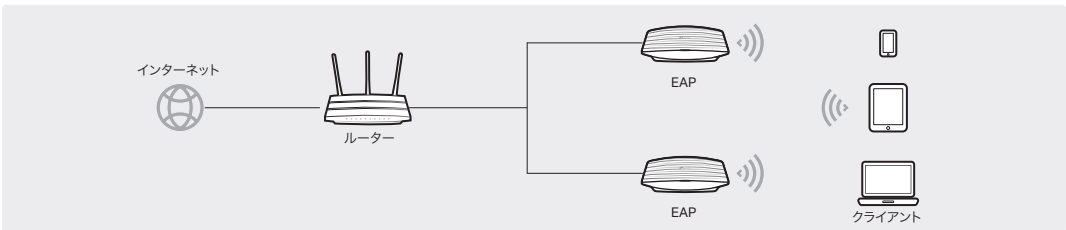
4 ソフトウェアの設定

ローカルネットワークのEAPとクライアントにIPアドレスを割り当てるには、DHCPサーバー (通常はDHCP機能が有効になっているルーター)が必要です。

EAPでは2つの設定方法に対応しています:

- EAPを単独で構成および管理する場合は(複数のEAPを持つ小規模ネットワークに適しています)、Standalone Modeを推奨します。方法1を参照してください。
- EAPを一括で構成および管理する場合は、Controller Modeを推奨します。方法2を参照してください。

方法1:Standalone Mode



Omadaアプリ

- 以下からTP-Link Omadaアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。



- モバイルデバイスを、EAP裏面のラベルに印刷されているデフォルトのSSID (TP-Link_2.4GHz/5GHz_XXXXXX)に接続させます。
- Omadaアプリを開き、EAPが Standalone AP ページに表示されるのを待ちます。表示されたら設定するEAPをタップしてください。

Omadaアプリからは一般的な設定のみを構成できます。詳細な設定をする場合は、EAPまたはコントローラーのWeb管理ページにログインのうえ実施してください。

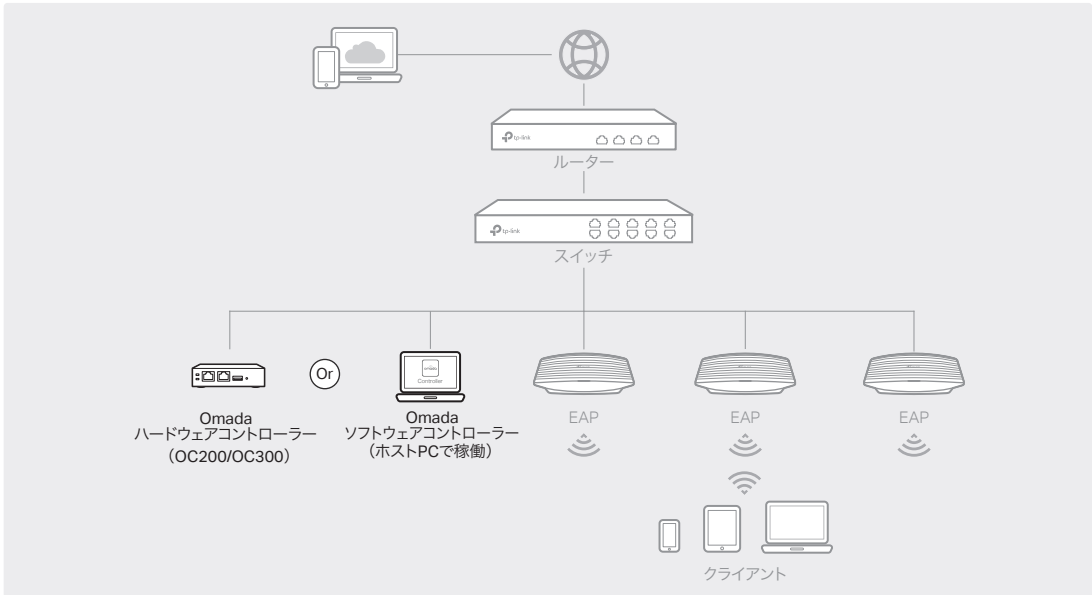
Webブラウザ

- モバイルデバイスを、EAP裏面のラベルに印刷されているデフォルトのSSID (TP-Link_2.4GHz/5GHz_XXXXXX)に接続させます。
- Webブラウザを起動させ、アドレスバーに http://tplinkeap.net と入力します。ユーザー名とパスワードの両方に「admin」と入力してログインします。
- 安全に管理するために、新しいユーザー名とパスワードを設定してください。続いてワイヤレスパラメーターを変更し、デバイスを新しいWi-Fiに再接続させます。

他のEAPを設定する場合も、デバイスを各EAPのデフォルトSSIDに接続させ、上記の手順を繰り返します。Standalone Modeでは基本的な機能の設定が可能です。高度な機能を設定する場合は、Controller Modeを使用してください。

方法2:Controller Mode

Controller Mode は、大規模なEAPの設定に適用できます。全てのEAPは、OmadaソフトウェアコントローラーやOmadaハードウェアコントローラー (OC200/OC300)、またはOmadaクラウドベースコントローラーから、一元で設定および監視が可能です。



Omadaソフトウェアコントローラー

- Windows OSまたはLinux OSを搭載したPCで、<https://www.tp-link.com/support/download/omada-software-controller/> からOmadaソフトウェアコントローラーのインストールファイルをダウンロードします。
- ファイルを実行し、ウィザードに従ってOmadaソフトウェアコントローラーをインストールします。
- Omadaソフトウェアコントローラーを起動させ、表示に沿ってクイックセットアップを完了させます。
- ウィザード完了後にログイン画面が表示されます。作成したユーザー名とパスワードを入力し **Log in** をクリックすると、コントローラーの詳細設定ができます。

* Omadaクラウドサービス

Omadaソフトウェアコントローラーをインストールした後、Omadaクラウドサービスを利用してコントローラーにリモートでアクセス・設定ができるようになります。以下の手順に沿って進めてください。

- コントローラーの設定ページで **Cloud Access** を有効にし、TP-Link IDをコントローラーに紐付けます。セットアップウィザードで既に設定している場合は、この手順をスキップしてください。
- Webブラウザを起動させ、アドレスバーに <https://omada.tplinkcloud.com> と入力します。
- TP-Link IDとパスワードを入力してログインすると、IDに紐付けられているコントローラーのリストが表示されます。**Launch** をクリックし、コントローラーの詳細設定ができます。

* Omadaアプリ

Omadaアプリを使用すると、現地とリモートの両方でOmadaソフトウェアコントローラーを管理することもできます。Omadaアプリを使用する場合、Omadaソフトウェアコントローラーも稼働している必要があります。ご注意ください。

- 以下からTP-Link Omadaアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。

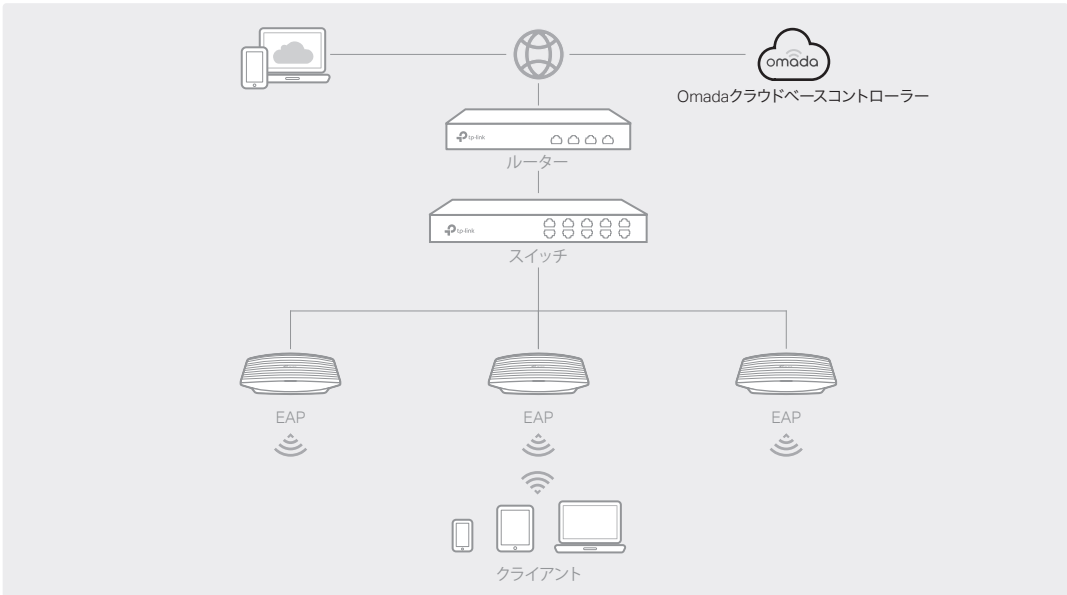


- Omadaアプリを起動させ、現地またはリモートからコントローラーを設定します。

- ローカル管理
 - モバイルデバイスを、EAP裏面のラベルに印刷されているデフォルトのSSID (TP-Link_2.4GHz/5GHz_XXXXXX)に接続させます。
 - Omadaアプリを起動させて **Local Access** に進み、右上の+ボタンをタップしてコントローラーを追加します。続いてコントローラーの詳細設定ができます。
- リモート管理
 - コントローラーで **Cloud Access** が有効になっていて、TP-Link IDに紐付けされているか確認してください。
 - Omadaアプリを起動させTP-Link IDでログインします。**Cloud Access** に進むとIDに紐付けされているコントローラーのリストが表示され、コントローラーの詳細設定ができます。

Omadaハードウェアコントローラー (OC200/OC300)

OmadaソフトウェアコントローラーがプリインストールされているOmadaハードウェアコントローラー (OC200/OC300) は、ネットワーク上でOmadaソフトウェアコントローラーを稼働させるための予備PCがない場合に適した代替手段です。使用する場合は追加購入が必要となります。詳細については、OC200/OC300のインストールガイドを参照してください。



Omadaクラウドベースコントローラー

- Webブラウザを起動させ、アドレスバーに <https://omada.tplinkcloud.com> と入力します。続いてTP-Link IDとパスワードを入力してログインします。
- Add Controller** をクリックして、Omadaクラウドベースコントローラーを購入します。表示に沿ってプランを選択し支払いを完了させたら、コントローラーが展開されるまで待ちます。
- コントローラーがTP-Link IDに紐付けされると、リストに表示されます。**Launch** をクリックし、表示に沿ってクイックセットアップを完了させます。ウィザードが完了したら、作成したユーザー名とパスワードを使用してログインします。
- サイドバーから**Devices>Add Devices**の順にクリックします。製品下部にあるシリアル番号を使用して、デバイスをコントローラーへ手動で追加できます。

* Omadaアプリ

Omadaクラウドベースコントローラーの管理もOmadaアプリから可能です。

- 以下からTP-Link Omadaアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。



- Omadaアプリを起動させTP-Link IDでログインします。**Cloud Access**に進むとIDに紐付けられているコントローラーのリストが表示され、コントローラーの詳細設定ができます。

詳細な設定については、<https://www.tp-link.com/support/download/> からEAPおよびコントローラーのユーザーガイドをダウンロードのうえご確認ください。

安全にご使用いただくために

- 製品を火気・水・湿気・高温から遠ざけてください。
- 製品の分解・修理・改造等をしないでください。サービスが必要な場合は弊社までお問い合わせください。
- 無線機器の利用制限がある場所で、製品を使用しないでください。
- 損傷した充電器またはUSBケーブルを使用してデバイスを充電しないでください。
- 推奨充電器以外は使用しないでください。
- アダプターは機器の近くで容易に手の届く位置に設置してください。

TP-Link製品には、GNU General Public License (GPL) の対象となるソフトウェアコードを含む、サードパーティによって開発されたソフトウェアコードが一部含まれています。該当する場合、GPLの概要やTP-Link製品で使用されている各GPLコードへのアクセス取得に関する情報は、GPLコードセンター (<https://www.tp-link.com/en/support/gpl/>) より入手可能です。それぞれのプログラムは無保証で配布され、1人以上の作者の著作権の対象となります。詳細については、GPLコードおよびGPLのその他概要を参照してください。

テクニカルサポート等、その他の情報に関してはHPをご覧ください：
<https://www.tp-link.com/support>

